

授業科目名 (科目の英文名)	【コース】 看護研究/ 専門看護師	単位	対象 年次	学期	曜・限	担当教員名
看護コンサルテーション論 (Nursing Consultation)	選択/ 選択必修	2	1・2	前期	集中	科目責任者：井手知恵子 担当者：宇佐美しおり (CNS), 河野 修 (CNS) 岩本 祐一
【授業のねらい】 専門看護師の重要な役割であるコンサルテーションに関して、関連する理論や技術を学ぶことにより専門看護師の役割発展のための基礎的能力を修得する。 看護職が職務を遂行する過程で直面する、複雑で対応困難な問題を抱える患者・家族の問題を解決していく上で、医療チームの中での看護の立場から、相談の理論と技術を使って支援する能力を培う。						
【具体的な到達目標】 1. 看護コンサルテーションの2つのタイプおよび4つのモデル、コンサルテーションにおける倫理について理解する。 2. 実践現場で生じる問題を対象（個人・組織）自らが解決するためのデータ把握、分析力を取得する。 3. 個人や組織に対するコンサルテーションプロセスを理解し、コンサルテーションを展開するための支援技術と方法を修得する。 4. 組織やグループのコンサルテーションを理解し、専門看護師の医療チームにおける役割や相談業務のあり方について検討する。						
【授業の内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルテーションの概念及び実践モデルの理解 ・コンサルタントの役割 ・個人または組織やグループを対象としたコンサルテーションのプロセスの理解 ・CNS の役割および相談業務 ・看護コンサルテーションのタイプ別・領域別演習 ・看護コンサルテーションの領域別演習 						
【時間外学修】 教科書・文献による事前学習と演習のための資料作成（10～30 時間）						
【教科書】 小谷英文・宇佐美しおり (2018) : PAS セルフケアセラピー、PAS 心理教育研究所出版部 （これは直接注文して入手のため受講予定者は早めに連絡すること）						
【参考書】 講義開始時に提示する。						
【成績評価の方法及び評価割合】 レポート (50%)、プレゼンテーション (30%)、出席態度・姿勢 (20%)						
【注意事項】						
【備考】 集中講義のため、講師および昼夜の受講生の予定を調整し合同で開講予定						

看護コンサルテーション論 授業計画

回数	テーマ	授業内容	方法担当等
1	コンサルテーションの理論とその展開方法	<ul style="list-style-type: none"> ・看護コンサルテーションとは ・専門看護師の役割としてのコンサルテーション 	講義 井手・岩本
2		<ul style="list-style-type: none"> ・タイプ別コンサルテーションの展開 ① 課題適用型 ② プロセス適応型 	講義 宇佐美
3			
4		<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルテーションにおける倫理 ・コンサルタントにもとめられる倫理，倫理的課題に関するコンサルテーション 	
5			
6	コンサルテーションの実際	<ul style="list-style-type: none"> ・専門看護師のコンサルテーション展開（1） 臨床の複雑で対応困難な問題に対するコンサルテーションプロセス（個人を対象） 	
7		<ul style="list-style-type: none"> ・専門看護師のコンサルテーション展開（2） 臨床の複雑で対応困難な問題に対するコンサルテーションプロセス（組織を対象） 	
8			<ul style="list-style-type: none"> ・看護コンサルテーションの領域別演習 ① 持ち寄った実践想定事例による問題の明確化とタイプの判別 ② 模擬トレーニング（ロールプレイ・記録・分析） ③ グループ間討議
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15	まとめ	コンサルテーション能力を高めるために (プレゼンテーション・討議)	講義・演習 井手・岩本